

福井県民衛星「すいせん」画像を用いた デジタル地図



朝倉氏遺跡内各スポットの詳細な解説

地図上に遺跡、飲食店、休憩所等、さまざまなアイコンを配置



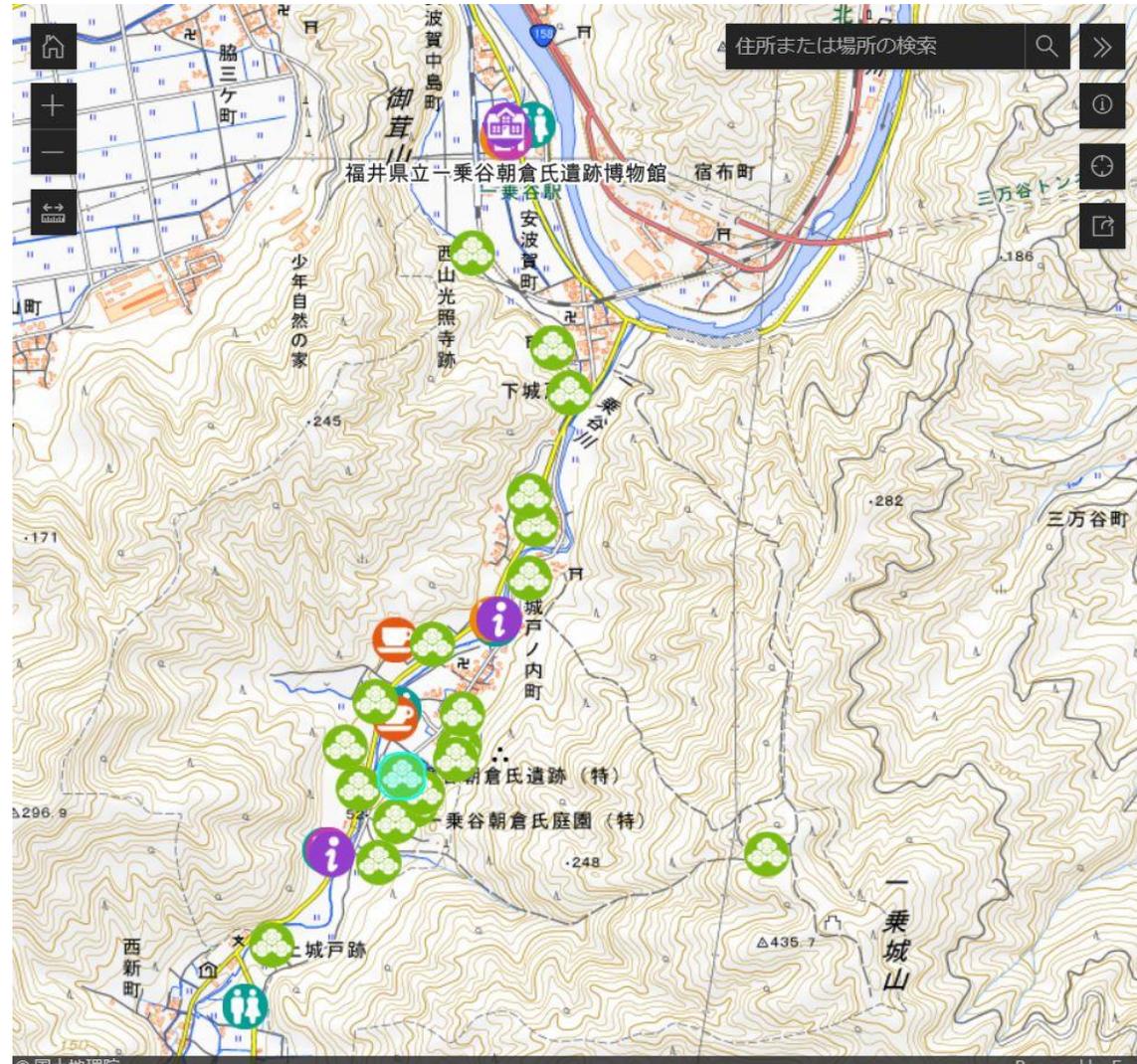
朝倉氏遺跡内各スポットの詳細な解説

地図上のアイコンをクリックすると、詳細な解説を閲覧できます

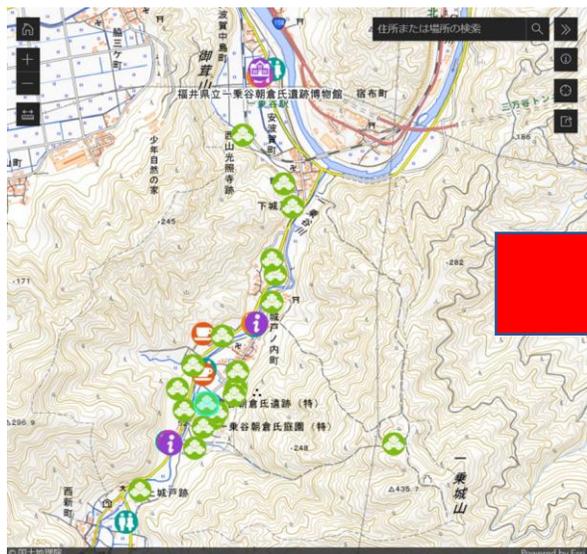


朝倉館跡・唐門

朝倉館には越前国を治める戦国大名にふさわしく、京都の管領邸（かんれいでい）などの権力をもった武家の邸宅と同等の空間が設けられました。足利将軍家の元服や御成などの儀式・饗宴が可能な主殿（しゅでん）や会所（かいしょ）、庭園等の表舞台に当たる空間と、表舞台を支える台所や倉庫等の裏方の空間が同居し、いずれも当主館に欠かせない機能を果たしていました。唐門は、朝倉氏の滅亡後、江戸時代に朝倉氏を供養するため、朝倉館の跡地に建てられた普提寺・松雲院（しょううんいん）の山門です。松雲院は福井藩松平家の歴代藩主に保護され、義景の廟所もつくられました。松雲院の移転後、昭和43年（1968）から発掘調査を開始し、全国に類をみない戦国大名館の全体像をうかがわせる、多数の遺構を確認しました。



すいせん画像への切り替え



地図上のすいせん
から撮影画像に
切り替え可能

画像は、定期的に
更新されます。

